

(1)事業の概要等

事業番号	B1600-1
実施計画事業	○
実施計画事業以外の事業	

令和5年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	キッズサポーター事業(一般事務事業)				担当部	こども未来部					
	事業期間	令和3年度	～	令和7年度以降		担当課	幼児教育・保育課					
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	分野別計画編	基本施策	16	展開方向	担当係	幼児教育・保育係					
	予算区分	一般会計	款	3	項	3	目	4	大	2	中	1
	根拠法令・個別計画	-				事業種別	一般事業					
	目的・成果 (何のために、どのような成果を期待するか)	人手不足が深刻な保育士の負担を軽減するために、保育学科等に在籍し保育士を目指している学生を雇用し、保育現場の負担軽減を図る。あわせて、学生に実際の保育現場を体験し、経験を積んでもらうことにより、学生の資質向上や大学等との連携を図りつつ、正規保育士の雇用へとつなげることを目指すもの。										
	対象 (何・誰を対象に)	保育学科等に在籍し保育士を目指す学生										
	内容・手段 (目的達成のためにどのような事業を実施したか)	<p>保育園で保育士の補助をするサポーターとして、保育学科等に在籍し保育士を目指す学生の雇用を行う。 また、保育実習生に対して、キッズサポーターの制度を積極的にアナウンスすることにより、人員の確保に努めた。</p> <p>令和3年度 雇用実績 8名 令和4年度 雇用実績 7名</p> <p>報償費 1時間当たり 1,000円 にて支払い</p>										
受益者負担	無											

(2)事業費

		項目	単位等	R1	R2	R3	R4	R5
直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	—	—	2,084	1,419
		国・県支出金	千円	—	—	—	—	
		その他	千円	—	—	—	—	
		計(A)	千円	0	0	2,084	1,419	
	対前年比	%	—	—	—	68.0%		
	予算額	千円	—	—	4,600	4,320	3,456	
人件費	正規職員	人	—	—	—	—		
	正規職員(平均賃金)	千円	—	—	—	—		
	その他職員	人	—	—	—	—		
	その他職員(時給×時間)	千円	—	—	—	—		
	計(B)	千円	—	—	—	—		
事業費合計(C=A+B)		千円	0	0	2,084	1,419		

(3)業績

展開方向における指標の推移		基本施策		16		展開方向	
指標名	単位	方向性	基準値	R2	R3	R4	R5
1							
2							
3							

指標	指標ほか		単位		R1	R2	R3	R4	R5
	成果指標	キッズサポーターのうち、正規保育士採用試験を受験した人数	人	目標	—	—	—	—	—
				実績	—	—	5	3	
	安心して子育てができるまちだと思える保護者の割合	%	目標						
			実績	82.6	85.9	89.6	—		
	活動指標	キッズサポーターの雇用数	人	目標	—	—	—	—	—
				実績	—	—	8	7	
					目標				
					実績				
	単事業あたり	受益者数(a)		人	—	—	—	—	
受益者あたり事業費(=C/a)		円	—	—	—	—			

(4)事業の評価

事業の評価	事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの				
	事業の達成状況と課題	<p>保育士が手薄になる夕方の時間帯にキッズサポーターの補助があることは、保育士の負担軽減効果が高く、見守り体制の強化が図られた。安全・安心な保育園運営を行うことにより、保育の質の向上に繋がったと考えている。</p> <p>(令和3年度 雇用実績 8名の内 6名が次年度以降に受験) (令和4年度 雇用実績 7名の内 7名が次年度以降に受験)</p> <p>また、学生自身にとっても、保育現場で経験を重ねることで保育職への志を高め、学習意欲や就労意欲の増進につながるよう、学生の自宅から近い馴染みのある保育園に配置を行うなど配慮をした。</p> <p>現状、制度の周知が保育実習に来た学生を対象としているため、例年、雇用人数が少ないことが課題である。</p>					
	今後の実施内容	<p>より多くのキッズサポーター雇用のため、制度の周知方法を検討する。</p> <p>・現状の方法(保育実習生への制度周知)に加え、保育学科等のある学校に対しても積極的に制度周知を図り、応募者、雇用者の拡大に努める。</p>					
事務事業評価による額	-	千円	節		細節		細々節